



## <第28回学会 子ども・福祉部長賞>

氏名：森本 克美 様

所属：カレッジ旭川荘

職種：支援教員

発表演題：福祉制度を利用した「福祉型大学」の認識の変化についての一考察  
～特別支援学校高等部教員への意識調査を通して～



### ☆発表のきっかけ

この学会で発表させていただこうと思ったきっかけは、カレッジ旭川荘の大月学院長から岡山県保健福祉学会が県の保健福祉の水準向上を目的として設立されたことを教えていただいたことです。また、学院長の勧めもあり、先進的な取り組みをしている「カレッジ旭川荘」のことを少しでも県内の皆様方に知っていただく機会になればと思い、勇気をもって発表させていただきました。

### ☆受賞した時の気持ち

この度は、「子ども・福祉部長賞」という名誉ある賞を賜り、誠にありがとうございました。大変光栄に存じます。また、思いがけない受賞に非常に驚いたのと同時に身の引き締まる思いでいっぱいです。選考委員の先生方、またこの会を運営しておられる関係者の皆様方、心から感謝申し上げます。

### ☆受賞後の変化

私には、知的障害のある生徒の特別支援学校卒業後の学びの場が少ないという課題意識があります。どのような指導目標や計画を立て、どのような内容を指導すればよいか、日々手探りの状況ですが、このたびの受賞を契機として、日頃の職務により一層熱心に取り組んで一人でも多くの障害のある学生の社会自立に貢献できるよう取り組んで参りたいと思っています。

### ☆保健、医療、福祉関係の職場で働く仲間へ一言

県内の保健、医療、福祉の現場や行政機関等で日々地道な実践や研究を進めておられる方も多かろうと思います。この学会で自分の研究成果を発表することで、多くの方からご指導やご助言をいただくことができ、今後の研究や実践の励みになると思います。皆様方も岡山県保健福祉学会で日頃の研究成果を発表されることをお勧めします。